

平成 30 年度決算にかかる
外部評価結果報告書

亀山市行政評価外部評価委員会

(目次)

平成 30 年度執行の事務事業に関する外部評価結果	1
【亀山市の行政評価システムについて】	1
【総括評価】	1
【個別事業評価】	2
【決算概要】	2
個別事業評価(前期基本計画の施策の体系順)	4
1. 快適さを支える生活基盤の向上	
(1)都市づくりの推進	4
(9)歴史的風致を生かしたまちづくりの推進	5
2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	
(2)健康づくり・地域医療の充実	6
3. 交通拠点性を生かした産業基盤の強化	
(3)農林業の振興	7
4. 子育てと子どもの成長を支える環境の充実	
(1)子どもたちの豊かな学びと成長	8
5. 市民力・地域力の活性化	
(1)自立した地域まちづくり活動の促進	9

平成30年度執行の事務事業に関する外部評価結果

【亀山市の行政評価システムについて】

亀山市では、平成19年度に始まった第1次総合計画の策定を契機に行政評価システムを導入し、第1次総合計画後期基本計画や第2次総合計画前期基本計画の策定時においては、総合計画の効率的かつ効果的な推進を図るため、それまでの取組成果や課題等を検証され、評価システムの見直しが行われています。

こうした中、外部評価についても、評価内容の客観性や妥当性の向上を図るため、これまで継続して実施しており、今回も前期基本計画の施策推進に向けた意識を強めるため、同一の基本施策に位置付けられた事業を事業群として捉え、21の事業を6つの事業群に分類して実施しました。市において、行政評価の制度定着が図られる中で、評価内容の具体性等の視点も含め、外部評価を行いました。

【総括評価】

今回の外部評価は、第2次総合計画前期基本計画第1次実施計画の2年目である平成30年度の主要事業を対象に、事業群として一体的に評価を行うとともに、事業の成果や今後の対応方針に関する評価と併せて、その目的や手法の適切性まで確認することで、事業の上位施策への寄与度や目的に対する成果などを、効果的に評価できたものと考えられます。

個々の事業評価については、これまでの行政評価で培われてきた成果もあり、概ね適切に評価されていましたが、一部の事業においては、十分な成果を上げたものと推察されるものの、評価シートの記載内容からは、市民にとってどのような効果があり、それを踏まえてどのような改善を図ろうとしているのかが読み取れないようなものが見受けられました。

そのため、いくつかの事業については評価の見直し意見を出しましたが、それ以外の事業においても、今後の評価にあたっては、事業の成果や対応方針について、市民目線でより分かりやすく具体的に記載を行い、効果的に今後の事業展開に役立てられるよう努めてください。

また、望ましい評価シートの記述を実現する前提条件となるのは、この事業は「誰のため、何のため」に行うのかということ、常に自問自答する習慣を持つことだと思いますので、職員の方々の意識の向上についても期待します。

【個別事業評価】

今回、対象となった事業群に対する総括意見及び個別事業評価結果については、対象事業群別シートのとおりです。

【決算概要】

第2次総合計画の2年目の年となる平成30年度一般会計決算については、総合計画の着実な推進とともに、第2次行財政改革大綱後期実施計画の実践により、健全な行財政運営に努められています。

そのような中、経常経費の削減に加え、市税や地方消費税交付金などの一般財源が増収となったことにより、経常収支比率や公債費負担比率などの財政指標は前年度に引き続き好転傾向にあります。また、市債の借入の抑制により市債残高が10年連続で減少となるなど、将来の財政負担の軽減も図られているところです。

しかしながら、長期的な視点で試算を行った「長期財政見通し」では、歳出において、亀山駅周辺整備事業等による投資的経費や扶助費の増加、歳入における市税、普通交付税の減収が見込まれることから、一層健全な行財政運営に取り組む必要があります。

また、次期総合計画期間中には新庁舎の建設が見込まれ、更に長期的な展望で見通せば、リニア中央新幹線に対応したまちづくりなど、多額の投資に耐えられるような財政的な底力を蓄えておく必要もあるところです。

このようなことから、第2次総合計画の事業推進においては、引き続き財源の確保と実施可能な事業進捗を図るとともに、行政評価システムについては、その導入当時の初心に返って適切に運用し、効率的・効果的な行財政運営に努めていただきたい。

以上、当委員会として、評価結果をまとめましたが、これらを第2次総合計画の推進に活かし、より一層市民の期待に応えられる行財政運営に努められるよう要望します。

令和元年8月6日

亀山市長 櫻井 義之 様

亀山市行政評価外部評価委員会

委員長 村林 守

■施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	01:都市づくりの推進

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17001:都市マスタープラン策定事業	都市整備課 都市計画G
2	17002:地籍調査事業	用地管理課 用地G
3	17003:亀山駅周辺整備事業	都市整備課 亀山駅前整備G
4	18005:都市開発資金貸付金事業	都市整備課 亀山駅前整備G
5	17004:公園施設長寿命化計画策定事業	土木課 施設保全G
6	17005:西野公園改修事業(公園施設)	土木課 施設保全G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

今後とも市民の意見を広く聴いて、将来のまちづくりに生かされたい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	(活動・成果) 具体的な活動や成果の内容を記載されたい。 (対応方針) 策定した計画の具現化に向け、今後どのような取り組みを進めていくのかを記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・より一層の事業進捗を期待する。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	(活動・成果) 貸付を行うことでの成果を具体的に記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	(活動・成果) 長寿命化がどのように図れるようになったかなど、具体的な長寿命化計画策定による効果等について記載されたい。 (対応方針) 今後、策定した計画に基づき、どのような取り組みを進めていくのかを記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
6	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上
基本施策	09:歴史的風致を生かしたまちづくりの推進

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17036:東海道街道環境整備事業(布気小野線)	土木課 施設整備G
2	17037:伝統的建造物群保存修理修景事業	文化スポーツ課 まちなみ文化財G
3	17038:「関の山車」会館整備事業	文化スポーツ課 まちなみ文化財G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

地域のまちづくり協議会や関宿まちなみ保存会など地域住民と関わりながら事業が実施されていることは評価できる。今後も、関係団体等と連携・協働しながら取り組みを進めてほしい。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。 ・具体的な成果を記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・具体的な成果を記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。 ・当館を積極的にPRされ、関のまちなみへの来訪者の増加につなげられたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	02:健康で生きがいを持てる暮らしの充実
基本施策	02:健康づくり・地域医療の充実

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17041:特定健康診査・特定保健指導事業	市民課 国民健康保険G
2	17042:がん検診推進事業	長寿健康課 健康づくりG
3	17043:予防接種費用助成事業	長寿健康課 健康づくりG
4	17044:三重大学亀山地域医療学講座支援事業	長寿健康課 健康づくりG
5	17046:医療センター設備改修事業	病院総務課 病院総務G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

健康づくりに関する取り組みを手厚く実施されているので、各検診の受診率だけではなく、総合的に市民の健康増進に向けた取り組みを進められたい。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。 ・特定健康診査の受診率より特定保健指導の利用率が低調であることに懸念を抱く。特定健康診査の受診者のフォローアップに努めてほしい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・検診の申込みが簡便となる工夫を検討されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。 ・事業の目的を整理し、記載されたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	03:交通拠点性を生かした産業基盤の強化
基本施策	03:農林業の振興

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17063:林業生産活動支援事業	産業振興課 森林林業G

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

安定的な木材の利活用の視点からも取り組み、林業生産活動を支援されたい。

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	適切な評価と認められる。 ・専門的記述部分を分かりやすく表記するよう努められたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■施策の体系

基本施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実
基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長

■対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17068:川崎小学校改築事業	教育総務課 施設・保健給食G
2	17069:幼稚園保育室等空調機整備事業	子ども未来課 子ども総務G
3	17070:普通教室等空調機整備事業(小学校)	教育総務課 施設・保健給食G
4	17071:普通教室等空調機整備事業(中学校)	教育総務課 施設・保健給食G
5	17072:中学校給食実施事業	教育総務課 施設・保健給食G

■外部評価委員会評価

(総括意見)

子どもたちの学びの場としての学校等施設の整備・充実が積極的に図られてきたことを評価する。今後も学習環境の改善に努められたい。
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的手法	活動成果	対応方針
1	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
2	適切な評価と認められる。 ・令和元年夏までに供用が開始され、学習生活環境が早期に整備されたことを評価する。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
3	適切な評価と認められる。 ・令和元年夏までに供用が開始され、学習生活環境が早期に整備されたことを評価する。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
4	適切な評価と認められる。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し
5	適切な評価と認められる。 ・中学校における給食のあり方については、アンケート調査等の分析や生徒の意向を踏まえた上で、できる限り早く、方針を明確にされたい。	適切 見直し	適切 見直し	適切 見直し

■ 施策の体系

基本施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化
基本施策	01:自立した地域まちづくり活動の促進

■ 対象事業

No.	事業名	所管部署
1	17093:地域まちづくり協議会支援事業	まちづくり協働課 地域まちづくりG

■ 外部評価委員会評価

(総括意見)

<p>全地域の地域まちづくり協議会で地域まちづくり計画が策定されたことは、大きな成果であると評価する。行政としても地域まちづくり協議会の主体的な活動の実情を踏まえながら、その活動の推進に努められたい。</p>
--

(個別事業評価)

No.	全体評価	目的 手法	活動 成果	対応 方針
1	<p>適切な評価と認められる。 ・地域まちづくり協議会の活動が活発になることが、成果であると 考えられるので、その状況を十分把握されたい。</p>	<p>☑ 適切 見直し</p>	<p>☑ 適切 見直し</p>	<p>☑ 適切 見直し</p>